

## 多文化共生を進める団体交流会企画会議

日時：平成 28 年 4 月 18 日（月）

午後 7 時～8 時 40 分

場所：名古屋国際センター第一研修室

### 1 団体交流会の目的、あり方について（出た意見）

- ・定期的な開催が必要（2 ヶ月に 1 回程度）。
- ・名古屋市と団体からそれぞれ 1 つずつテーマを出し合っこの交流会で話し合う。
- ・この交流会の場に外国人が多く参加してもらえないようにしなければならない。
- ・外国人に来てほしいなら、チラシの多言語化は必要（最低英語のチラシは用意する）。また、内容を簡潔にまとめた案内メールやチラシが必要。
- ・チラシ等の翻訳について、団体として協力できる。翻訳依頼のシステムを市に作ってほしい。
- ・子どもをテーマにしたイベントを開催すれば、たくさんの人に参加してもらえないか。
- ・プランの告知チラシの作成、Facebook の活用（PR の仕方、広報の工夫）。  
→団体さんからチラシの配布等について協力する旨の発言あり（翻訳も含めて）。  
→4 月中に多文化共生の Facebook ページを作成する。
- ・市内で活動する団体の情報が知りたい。団体同士で協力し合えるかもしれない。
- ・市職員に団体の活動内容を知ってほしい。
- ・交流会を行って何が変わったのか。団体の意見が反映されれば、自ずと参加者も増えるはず。
- ・教育委員会の職員に、この交流会に参加してほしい。
- ・プランの施策毎や宗教等のカテゴリー毎に交流会を行って意見を聞くのはどうか。
- ・外国人の問題、各団体の困りごと、得意分野等を会議の場で共有し、事例検討を行ってはどうか。
- ・国や他県などで推奨されているトピックを取り上げた会議がよいのではないか。
- ・今年はプランについて話し合うべきではないか。
- ・団体交流会の成果物を「プラン」とする。
- ・有識者懇談会メンバーとの話し合いが行いたい。
- ・私たちは有識者ではないのか。私たちはボランティアで、有識者は謝金が出る。何が違うのか。有識者懇談会メンバーの選定について要望することはできるか。  
→有識者懇談会のメンバーはすでに決定している
- ・プランの素案がまとまる 10 月までは、毎月開催し、毎回テーマを決めて議論するのはどうか。

## 2 まとめ

- ・本年度の交流会は、プランの策定についての話し合いを中心に行う。
- ・プランの素案がまとまる 10 月までは、毎月開催し、毎回テーマを決めて議論する。
- ・企画会議のメンバーだけではなく、210 団体に参加を呼びかける。
- ・市に対する団体からの陳情の場ではなく、対等に自由に意見交換できるようにする。
- ・議題（話し合いたいこと）について、団体からも提案する。